

# ピースクラブ通信

## No.58

発行 社会福祉法人 ピースクラブ  
 所在地 〒556-0004 大阪市浪速区大国一丁目十一番一  
 連絡先 TEL 06-6664712077  
 FAX 06-6664712087  
 Eメール peaceclub@s2.dion.ne.jp  
 P http://www.ab.aunone-net.jp/~peace\_c/

### やまゆり園での事件に思う

橋本 雅敏

まず最初にこの事件で、暴漢に襲われ命を落とされたうえ、名前まで伏せられ、この社会から抹殺された19名もの尊い方々のご冥福をお祈りします。そして心身共に深いキズを追われた、26名の方々の一日も早い回復をお祈りします。

私が事件の第一報を知ったのは当日嫁さんにおはようの後、朝6時のテレビでのテロップだった。私は恐怖した。「私は殺されていたかもし

れない。」という上っ面だけの恐怖と、「私方殺シテイタカモシレナイ。」というずっと隠してきた障害者に植え付けられた根幹に潜む、差別意識が私にこの恐怖を与えた。

この恐怖について嫁さんにいつか話さないといけない。私は二つの恐怖に襲われた。私は障害者として産まれそ

人生の半分を施設というところで送った。

子供のころ親からお前はダメだとレッテルを貼られ、障害者だから親は可愛がってくれないと幼心にそう思った。私は幸いおじいちゃんおばあちゃん愛情を受けて育ちました。

施設や養護学校ではあなたたちはどうせなにも出来ない。だから黙って先生の言うことを聞きなさいのな、それは立派な障害者に育てあげするための教育や訓練だった。私はもちろん言うことを聞かなかった。

私は施設や養護学校になかなか馴染まなかった。それに

しても障害者という人種は、基本自分に利用価値がないヤツは相手にしない。私もそうだった。私のことは棚に

あげ、ややこしい障害者が嫌いだった。私は私が大嫌いだ。回りを見ても障害者ばかりの世界、最悪だった。しかし私はいつの頃からかこの状況を諦めていった。

そんな私は知らず知らずこの空気になれ、優生論的な考え方を回りの大人たちから刷り込まれていった。ソナ私ダカラ、アノ超凶行ヲ自身ノコトノヨウニ、恐怖シタノカモシレナイ。

自分を傷つける行為も同じく障害者なんていない方が

良いと思う考え方と同じだ。私は施設を出てこの世の中に自分の居場所を得るために反抗して生きてきました。優生論という考え方に反抗して生きてきました。

不幸な子供を不幸なところ閉じ込め、不幸な教育をこの国はなぜしたのか？あの頃の大人たちに聞きたい。アノ犯人ハ私ノ中ニモイマス。誰の心の中にも存在しています。だからこそ恐怖なのです。ソノ恐怖ヲクイ止メルノハ愛情シカアリマセン。障害者を抱えて生き



ている保護者の方々大変の一言では片付けられないと思います。

ソレデモ愛シテ下さい。まず自身を愛して下さい。お子さんも同じくらい愛して下さい。

それがタダヒトツ優生論を打ち破り心の中の魔物を抑え込む方法だと私は信じています。

私の幼い日そこにはいつもおじいちゃん、おばあちゃんがいました。愛情で包んでくれました。だから他人に愛情を与えることができる人間に、私は育つことができました。

「このような悲惨な事件を起こさせないため、残忍な人間を出さないために、私の経験からもつ少し書かせてもらいます。

施設を出た私はバイト先で「池マサトさん」という歌う

たいと出合い意気投合する。彼は「歌小屋の2階」というライブハウスのマスターだった。彼は私に詩を書いて朗読ライブをやろうと誘ってくれました。私はこの頃から与太郎と名乗る。

それからの私は大嫌いだっ自分の過去と向かい合う作業を繰り返した。掘り下げて掘り下げて詩を書き続けた。

そして私は気づいた。人トシテノ障害トハナニカ？身体の障害ではない。知能の障害ではない。精神の障害ではない。

人としての障害とは、他者ヲ想イタル想像力ノ欠落ダ。これが人生の孤立を生む。他者への偏見や差別意識を生む

大きな原因だと私は感じた。その孤立や偏見、差別意識と向かい合い、解決する方法

として私は、時間をかけて自分の汚い部分を炙り出し、それに対していかに想いを寄せ、想像して生きていけるかだと思えます。

私の場合は詩人として魂との対話をする事、それを人前で朗読することだった。私は過去と向かい合う作業を続けました。

バイトが終わったある日の深夜、詩を書きながら忘れてきた、おじいちゃんおばあちゃんの、愛情を思い出し声を殺して泣きました。こんな私でも、愛してくれた人がいたことに感謝しました。

そして私は私を許せました。そしてまた一歩進めました。

銀河の一節  
想像してごらん…  
特別なことじゃないよ…

by 与太郎

# 自己紹介

## 芳養 孝三

はさて、自己紹介の文章を書いて下さいと言われましても、物書きじゃあるまいし私みたいな善良な一般市民、恥ずかしい「よう書かんわ」てなもんですが、私にも母親が有りました。今から67年とほぼ6ヶ月前に私を産んだ人ですけど2003年に認知症の様な症状が出て、MRI検査を受けました。

検査後、車で自宅へ帰ろうとした時、突然「うちやん（私の名前、孝三ですの）で又戦争始まんのか？」と言われ、びっくりしたのですが、車のラジオからはニュースでイラク戦争が始まった事を

告げていました。どうも彼女にとっては遠く離れた中東での戦争ではなく、自分の身近で又々、戦争が始まりそうだと感じていた様なのです。

彼女は20、30才頃を戦争の中で暮らしていました、そして私が幼い頃によく空襲の恐ろしさを話してくれました。空襲警報のサイレン、1トン爆弾、焼夷弾、戦闘機の機銃掃射、爆風で膨れ上がった遺体等の恐怖を語ってくれました。そのお陰かどうか、子供の頃、私の生



まれ育った尼崎は工業地帯でしたので、お昼を知らせるサイレン、終業のサイレン等が鳴り響く度に「ピクッ」となったりしていました。そんなこんなで何となく「戦争怖い」から「戦争あかん」に、ほんで1970年前後のちょっとした行動を経て明確に「反戦」へと思いが固まってきました。

私の大事な思いの中心に「反戦」が有ります。

そして、障害が有ると言われている人達は、戦争をしようとは、いかなる理由が有ろうと絶対に思わないし、絶対に戦争をしてほしいとは思わない人達です。私にとっては絶大なる「同志」です。これは蛇足ですが、「戦争を抑止する為にこの法案は有る」てな事を言って、戦争法案をむりやり通すぞごの首

相や、どおほんだらな事をしておきながら、「世界が平和でありますように」等とほざくバカたれ達は、ほんまにもう・・・(こ)とばがない)。

## 自己紹介

### 芳養 有希子

みなさんこんにちは。私「はもんちゃん」と呼ばれています。何でかと言つと旧姓が「門野(もんの)」だから。割と珍しい名字でしょう。今の芳養(はや)も珍しいけど。下の名は「有希子(ゆきこ)」です。こっち

で呼ぶ人は「あんたが赤ちゃんの時分から知ったあるんやで」と言ってくれる地元(きん)の近所のおばちゃん達と夫(つま)からいす。

私は今年の9月16日で45才の1971年、チョトツモワシンのいしし年生まれ(おと)のB型(が)です。日清(にっしん)カップヌードル(と)二日(ふた)違い(ちが)い(あ)のひとは18日(じゅうはち)の誕生日(たんじょうび)です。

生まれは和歌山(わかやま)の白浜(しろはま)。実家(まじか)はお米(こめ)とお茶(ちや)の商店(しょうてん)を両親(りやうしん)がやっています。

5才(ごさい)の時(とき)、「えかきさん」を志(めい)しました。

18才(じゅうはちさい)の時(とき)、大阪(おおさか)芸大(げいだい)の美術(びじゆつ)・絵画(えが)コース(こうす)に入学(にゅうがく)して4年(ねん)卒業(くわつぎやう)。

それから、めっちゃめっちゃ色々(いろいろ)あって(せいしんびやういん)に入院(にゅういん)

とか)38才(さんじゅうはちさい)の時(とき)、12年(じふにねん)間(かん)友達(ともだち)だった芳養(はや)さんと、急(きゅう)に気づ(き)いて結婚(けっこん)しました。そして、今(いま)に至(いた)る。

今は尼崎(あまがさき)に住(す)んでいます。

尼崎(あまがさき)や大阪(おおさか)はコンクリート(コンクリート)ジャングル(ジャングル)なので、時々(ときどき)プアッ(プアッ)と息苦(いきぐる)しくなると、たま(たま)に緑(きよ)や空(そら)、水(みづ)の多(おほ)いところ(ところ)なんかに行(い)くと、「コレ!コレ!」て気分(きぶん)になります。

ピースでは、これからミシン(ミシン)でさおり織(お)りを使(つか)った、使える(つか)るもの(もの)を作(つく)っていただけるといいな(いいな)と思(おも)っています。

それと、ピースクラブ(ピースクラブ)にいる時(とき)も、いつ(いつ)でも、私(わたし)のままでいい(いい)なと思(おも)います。

す。



- ◇好きなアクション◇
- 植物(しょくぶつ)を育て(た)てる(種(たね)から育てたアボカド(あぼかど)さん、7年(ななねん)たってベランダ(べらんだ)で私(わたし)の背(せ)より高(たか)く育(そだ)っています。実(み)はまだ成(な)ったこと(こと)がない)
- 絵(え)を描(か)くこと。なんか塗(ぬ)るじ。
- 工作(こうさく)や手芸(ていげい)。手(て)を動(うご)かし
- て何か(なに)かを作(つく)ること。
- 川(かわ)に浸(ひた)かるじ。
- 歌(うた)を歌(うた)う。
- 飲酒(いんしゆ)。
- 読書(よみか)。



# 自己紹介

## 須田 玲奈

皆さん初めましての方もそうでない方もこんにちはー須田です。今回は、私の初めてのバンドの話をしようにと思います。私はドラムをたいています。

それはかれこれ7年くらい前のこと、ドラムを叩き出した頃。芳養さん(ジンベ・三線)という人に「こんどオレらバンドすんねんけどやらへんか?」と聞かれて私「うん。やる」と。

それで、バンド名は既に決まっていたBBM(ベイビー・ブルー・マスタード)という名前でした。名付けたのは門ちゃん(うた・トランペット)という人です。そして練習することになり、スタジオにい

くと河榮さん(ギター・うた)という人と、みーさん(ベース)という人がいて、そこからBBMは始まりました。

いろんなところでライブしてきたのですが、どういうわけか最近ほめっきり出番も少なくなっていて、とほほーと思ったら気づいたら、門ちゃんも芳養さんも河榮さんもみーさんもピースにおったのです。

(そういうえば一番最新のライブはピースやったー！)  
これはつまりBBMの活動再開の時から来たということでは?と、この中でBBMを



ご存じの方もそうでない方も、出演依頼お待ちしております。ります。よ。

ステキで楽しいオリジナルの楽曲、どうぞマスタード!

# 与太郎の

## 与太郎の話

ポケモンGoが日本で解禁されたよく晴れた暑い日、姫野氏はいち早くゲットしたのは言うまでもない。外にでてお散歩しながらポケモンをゲットしていく画期的な無料ゲームアプリのこと。

与太いわく、ヨタモンがポケモンゲットしてもしゃくないやる。実際のところ与太は不器用だからできません。ポケモンGoに興味津々ながあかねちゃん。姫野氏のス

マホを覗きこみながらやり方を伝授してもらっていた。姫野氏はその他ガラケーの方々にポケモンGoの楽しさを伝授。これでピースのスマホ率がどれくらい上がるのか?微妙に興味深い。

報道などで色々言われるポケモンGo。実際のところ姫野氏に聞いてみた。ポケモンGoは歩きスマホしなくてもできるよ、とのこと。お散歩していてポケモンが近くに現れるとバイブ機能で教えてくれるらしい。

ポケモンGoは楽しい!楽しいからこそマナーが大切だと熱く語り、歩きスマホは回りが全く見えなくなるから木ノトやめた方がいい。

神社やお寺でポケモンを探すとときは、まずお参りを済ませるのは礼儀だよ、と姫野氏は語った。

明日ポケモンを探しに大阪城公園にゴミ袋持参で行くらしい。もしやゴミ拾いをしながらポケモンGo? 姫野氏なかなかやりよる。もしもこのようなイベントがポケモンGoユーザーの間で広がれば、

日本中の公園、神社仏閣、観光地、道ばたに至るまで、ゴミがなくなるのかもしれない。だとしたら凄いい話だ。ちなみに姫野氏のふくらみは

はこの一週間でピッキピッキのバックパッキに鍛え上げられたの言うまでもありません。ついこの間まで、せっかくなりに車イスで高速スピンを決めていたのに...

あの頃の面影は、今や、すでに、もうない。もしかして... 新手のリハビリゲーム? ポケモンGo恐るべし...